

関東大震災から100年

日本赤十字社埼玉県支部は常に災害に備えています



1923年9月1日、関東大震災(マグニチュード7.9)が発生し、死者・負傷者はそれぞれ約10万人、行方不明者は約4万人に及びました。日本赤十字社も本社建物を焼失しましたが、臨時救護所など193か所、医師、看護師等4,466人による大規模な救護活動を実施しました。

「自助」・「共助」・「公助」を高める赤十字の活動

～災害で苦しんでいる人を救うために～

災害救護活動・被災者支援

災害が発生した際、救援物資を配付するなど迅速に活動します。平時では、いつ起こるか分からない災害に備えて訓練を実施しています。



救護班要員研修



他県の赤十字支部と合同訓練



救援物資の配付



奉仕団の炊き出し訓練

救急法等の講習・防災教育

身近な人を救うための講習や、災害時の「自助」「共助」の力を高めるために防災教育事業を実施しています。



救急法講習



イベント会場での体験



防災セミナーの開催



青少年への防災教育

こうした活動は皆さまからのご寄付によって成り立っています。

赤十字活動資金へのご協力をお願いいたします。

被災者への救援物資の配付 令和3年度 配付実績

平時から市区町村へ配備し、火災・洪水などの災害時に被災者へお配りしています。



布団
セット

283セット



毛布

261枚



生活用品
セット

164セット

市区町村への災害救護資機材の配備

地域の防災力の向上を目指して、市区町村に救護資機材や救援車両を配備しています。

救援車両



ポータブル蓄電池・
ソーラーパネルセット



LP ガス発電機・
コードリールセット



手回し充電式防災ラジオ



移動炊飯器

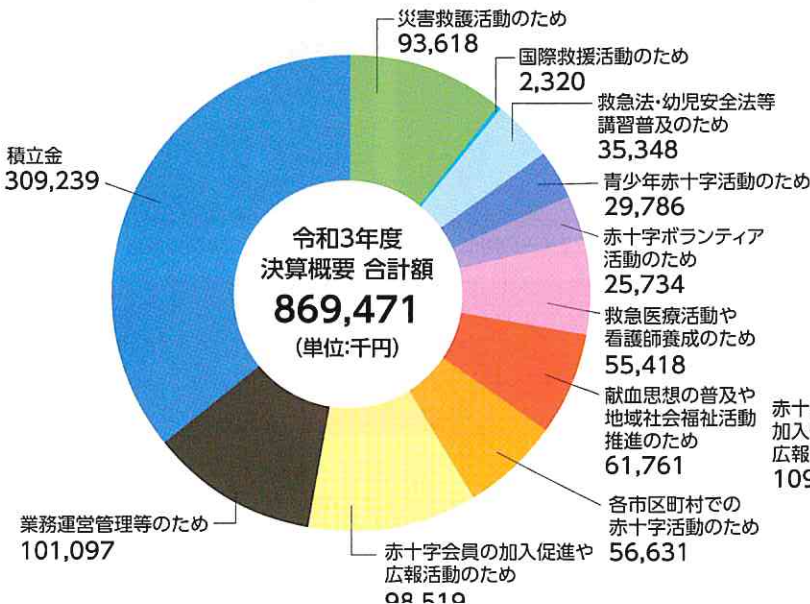


自動ラップ式簡易トイレ



これからも、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

令和3年度
決算概要 合計額
869,471
(単位:千円)



令和5年度
事業予算 合計額
639,062
(単位:千円)

